

第72回新潟県高等学校総合体育大会

兼 令和元年度全国高等学校総合体育大会柔道大会新潟県予選会

兼 令和元年度北信越高等学校体育大会柔道大会新潟県予選会

柔道大会開催要項

- 1 主催 新潟県高等学校体育連盟
- 2 共催 新潟県教育委員会 (公財) 新潟県スポーツ協会 新潟県柔道連盟 長岡市教育委員会
- 3 後援 長岡市スポーツ協会 中越地区柔道連盟 長岡市柔道連盟
- 4 主管 新潟県高等学校体育連盟柔道専門部
- 5 主管校 帝京長岡高等学校
- 6 期日 令和元年5月31日(金)・6月1日(土)・2日(日)
- 7 会場 長岡市市民体育館 長岡市学校町1丁目2-1 Tel 0258-34-2700
- 8 日程 5月31日(金) 10:30～11:20 受付・団体選手変更締め切り
11:30～12:30 審判監督会議・審判講習会
13:30～14:00 開会式
14:30～16:30 女子団体戦
16:30～17:00 女子団体戦表彰式
- 6月1日(土) (開場 7:00)
8:30～8:45 審判監督会議
9:00～15:00 男子団体戦
11:30～12:00 女子個人戦 非公式計量
12:00～13:00 女子個人戦 公式計量(1回のみ)
15:20～15:40 男子団体戦 表彰式
16:30～17:00 男子個人戦 非公式計量
17:00～18:00 男子個人戦 公式計量(1回のみ)
- 2日(日) (開場 7:00)
8:30～8:45 審判監督会議
9:00～16:00 男子・女子個人戦
16:15～16:30 閉会式(男女個人戦表彰式)
- 9 競技種目 (1)男子団体 (2)男子個人 (3)女子団体 (4)女子個人

10 競技規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定による。◎IJF新ルールの適応(平成30年4月1日全柔連発効による)ならび全国高体連柔道大会ならび試合実施の申し合わせ規定(平成30年4月全国高体連柔道専門部発行)による。
- (2) 審判員
- ① 審判は、主審1人、副審2人の3審制でおこない、各試合場に1人または2人の審判委員を配置する。
- ② 副審は主審の判断に異議がある場合は、従来どおりジェスチャーによって自分の意見を表す。
- ③ ケアシステムの導入:決勝においては、ケアシステムの映像を「技の効果」の判定に採用する場合もある。
- (3) 試合時間は、次のとおりとする。
- ① 団体試合:「男子」・「女子」とともに4分とする。
- ② 個人試合:「男子」・「女子」とともに3分とする。
- ただし、「男子」はベスト16から4分とする。「女子」はベスト8から4分とする。
- (4) 団体試合における優勢勝ちの勝敗の判定基準は「一本」・「技有」・「僅差」とする。
- ① 「技有」:「技有」が2つでも「一本」と同等とする。(「合わせ技一本」)
- ② 「僅差」:試合両者に技による評価(技有)が無い場合または同等の場合に「指導」差が2の場合に、指導の無い選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。
- (5) 個人試合における優勢勝ちの勝敗の判定基準は「一本」・「技有」・「僅差」とする。
- ① 「技有」:「技有」が2つでも「一本」と同等とする。(「合わせ技一本」)
- ② 「僅差」:試合両者に技による評価(技有)が無い場合または同等の場合に「指導」差が2の場合に、指導の無い選手を「僅差」による優勢勝ちとする。「指導」差が同等もしくは1の場合であれば延長戦(ゴールデンスコア方式)で必ず勝敗を決定する。
- (6) 試合運営の関係によって、試合時間等の変更が有り得る。(大会準備会議で決定する)
- (7) その他、競技規定の詳細については大会審判会議資料・申し合わせ事項(別紙1)に記載する。

11 競技方法

- (1) 団体試合(男子・女子)
- ア. 学校対抗点取り試合とする。
- イ. 予選リーグ戦を行う。ただし、スーパーシード制を導入する場合もある。

- ウ. リーグ戦の上位による決勝トーナメント戦を行い、優勝チームを決定する。
3位決定戦は行わない。ただし女子団体においては北信越出場決定戦を行う。
 - エ. リーグ戦・トーナメント戦における「技の内容」と「指導」の重みは、次のとおりとする。
◎「一本勝ち＝相手の直接または累積反則による勝ち」>「技有」>「僅差」
 - オ. 団体試合の「チーム対チーム」の勝敗は、次の項目によって決定する。
 - ①「勝ち数の多いチーム」を勝ちとする。
 - ② ①で同等の場合は、「一本勝ちの多いチーム」を勝ちとする。
※ただし「相手の直接または累積反則による勝ち＝一本勝ち」とする。
 - ③ ②で同等の場合は、「技有勝ちの多いチーム」を勝ちとする。
 - ④ ③で同等の場合は、代表戦をおこなう。
 - カ. 「代表戦」は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出しておこなう。
 - キ. リーグ戦は、勝率高得点法により順位を決定する。
 - ク. リーグ戦終了後の結果、試合内容が同じ場合は代表戦を行う。代表戦は、その対戦に出場した任意の選手を選び、試合を1回のみおこない、勝敗がつかなかった場合は、延長戦（時間無制限：ゴールデンスコア方式）を行い、必ず勝敗を決し順位を決定する。
 - ケ. 決勝トーナメントにおいて内容が同じ場合は、代表戦をおこなう。代表戦は、その対戦に出場した任意の選手を選び、試合を1回のみ行い、勝敗がつかなかった場合は、延長戦（ゴールデンスコア方式）で、必ず勝敗を決定する。
- (2) 個人試合（男子・女子）
- ア. 体重別試合とする。
 - イ. トーナメント戦を行い、優勝者を決定する。
- (3) 競技方法に関しては、変更する場合がある。

12 参加資格

- (1) この開催基準要項でいう高等学校には本連盟に加盟する中等教育学校後期課程を含む。
- (2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- (3) 選手は、本連盟に加盟している高等学校に在籍する生徒であること。
- (4) 選手は、各高等学校の教育計画に基づいて行う課外指導に位置づけられた運動部（当該種目）の部員であること。
- (5) 上記（3）に該当しない生徒を選手として選手を参加させる場合は、会長の承認を必要とする。
- (6) 選手は、平成12年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (7) ア. チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
イ. 特例として、全日制課程が定時制課程に改組された場合は、改組後2年間に限り、混成を認める。
- (8) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (9) 部員不足等に伴う複数合同チームによる大会参加を認める。ただし、当該種目専門部が定める複数合同チームに関する規定に基づき、会長が承認した場合に限る。
- (10) 転校後6ヶ月未満の者は認めない。（外国人留学生もこれに準ずる。）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、会長の許可があればこの限りではない。
- (11) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、また、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (12) 参加資格の特例
 - ア. 上記（1）（2）に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと会長が認める生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ. 上記（6）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
 - ウ. 上記アの別途定める規定は、全国高校総体開催基準要項の「大会参加資格の別途に定める規定」に準ずる。
- (13) 上記（1）から（12）の他、上位大会実施要項に準じ専門部で定める。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1. 学校教育法第72条、第115条、124条および134条の学校に在籍し本連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2. 以下の条件を具備すること
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア. 本連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。
また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ. 各学校にあっては、当該競技要項により大会への出場条件が満たされていること。
 - エ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間が高等学校に比べて著しく均衡を失っておらず、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

- ア. 新潟県高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

13 参加制限

(1) 団体試合 (男子・女子)

- ア. フリー参加とし、1校1チームとするが、課程(全・定・通)単位、分校単位の出場を認める。
- イ. チームの人員
 - 男子: 監督1名、選手5名、補欠1名、マネージャー1名、計8名とする。
 - 女子: 監督1名、選手3名、補欠1名、マネージャー1名、計6名とする。
 - 女子団体戦は男子と同様、体重の配列は自由とする。
- ウ. 外国人留学生のチーム人員は男子・女子とも1名以内とする。

(2) 個人試合 (男子)

- ア. 各地区の予選を通過した者の出場を認める。各階級のエントリー数は「中越・上越」地区18名(上位16名ならびに推薦選手2名)、「下越・佐渡・新潟」地区21名(上位16名ならびに推薦選手5名)とする。その他、各階級において地区推薦によって参加することができる。(出場の決定は県総体抽選会時に決定する)
- イ. 各階級39名編成とするため5地区総務の話し合いにより補欠選手を補充することができる。
- ウ. 体重区分は次の7階級とする

100kg超級	100kgを超える者
100kg級	90kgを超え100kg以下の者
90kg級	81kgを超え90kg以下の者
81kg級	73kgを超え81kg以下の者
73kg級	66kgを超え73kg以下の者
66kg級	60kgを超え66kg以下の者
60kg級	60kg以下の者
- エ. 計量にパスしない者は出場できない。

(3) 個人試合 (女子)

- ア. 各地区の予選を通過した者の出場を認める。各階級のエントリー数は「中越・上越」地区10名(上位8名ならびに推薦選手2名)、「下越・佐渡・新潟」地区13名(上位8名ならびに推薦選手5名)とする。その他、各階級において地区推薦によって参加することができる。(出場の決定は県総体抽選会時に決定する)
- イ. 各階級23名編成とするため5地区総務の話し合いにより補欠選手を補充することができる。
- ウ. 体重区分は次の7階級とする

78kg超級	78kgを超える者
78kg級	70kgを超え78kg以下の者
70kg級	63kgを超え70kg以下の者
63kg級	57kgを超え63kg以下の者
57kg級	52kgを超え57kg以下の者
52kg級	48kgを超え52kg以下の者
48kg級	48kg以下の者
- エ. 計量にパスしない者は出場できない。

14 申込方法

- (1) 参加申し込み(団体戦、個人戦)は、所定の用紙に記入し、次の宛先に申し込むこと。
- (2) 申し込み先
〒940-0044 長岡市住吉3-9-1 帝京長岡高等学校 内
第72回新潟県高等学校総合体育大会柔道大会事務局 担当 齋藤 晃一 宛
Tel 0258-36-4800 Fax 0258-36-4715
- (3) 申し込み締め切り 令和元年5月9日(木) 必着
*申し込み期限を過ぎた場合には参加できない。
(事前に参加人数集計表のみ Faxでお送りください。5月7日(火)まで)

15 参 加 料

- (1) 大会に参加する生徒は、参加料を納入する。
- (2) 参加料を徴収する生徒の基準、選手・補欠・マネージャー。
- (3) 参加料の額は、1名550円。加盟校以外1名1,150円。

16 表 彰 〈 男 子・女 子 〉

- (1) 優勝した学校には、新潟県高等学校体育連盟より優勝旗を授与する。
- (2) 男女優勝旗及び男子準優勝カップは次期大会に返還する。
- (3) 団体試合、個人試合ともに3位まで表彰する。

17 上位大会出場資格

- (1) 男 子
 - ア. 本大会の団体最上位1校、個人各階級最上位1名は、全国高等学校総合体育大会柔道大会（鹿児島県鹿児島市）へ出場できる。
 - イ. 本大会の団体上位4校、個人各階級上位8名は、北信越高等学校体育大会柔道大会（富山県射水市）へ出場できる。
- (2) 女 子
 - ア. 本大会の団体最上位1校、個人各階級最上位1名は、全国高等学校総合体育大会柔道大会（鹿児島県鹿児島市）へ出場できる。
 - イ. 本大会の団体上位3校、個人各階級上位4名は北信越高等学校体育大会柔道大会（富山県射水市）へ出場できる。

18 抽 選 会 令和元年 5月10日（金） 9：30～17：00 帝京長岡高等学校特別教室

19 選手変更

- (1) 団体試合
 - ア. 申し込み参加者に変更が生じた場合、所定の用紙に記入し学校長の許可を得て、5月31日（金）（大会1日目）11時20分までに大会事務局（受付）へ届け出る。
 - イ. チーム出場順位の変更は認めない。
 - ウ. 申し込み選手の変更は、男子1名、女子1名を限度とする。但し、伝染病、その他天災による場合にはこれを適用しない。
- (2) 個人試合
 - ア. 次のように、申し込み参加者に欠場・辞退が生じた場合、監督は該当地区総務に届け出ること。
 - ①6月1日（土）までに欠場辞退する場合→男子・女子個人戦「計量」終了まで（計量担当・各地区総務）
 - ②「計量」後（6月1日（土））の負傷・疾病等で欠場・辞退する場合
→6月2日（日）8時10分まで（各地区総務）
 - イ. 総務は大会事務局に補欠の補充を届け出る。
 - ウ. 申し込み選手の変更は各地区の補欠の順とする。

20 計 量

- (1) 女 子（個人） 6月1日（土） 長岡市市民体育館 柔道場 *前日計量
 - 11：30～12：00 非公式計量
 - 12：00～13：00 公式計量（1回のみ）
- (2) 男 子（個人） 6月1日（土） 長岡市市民体育館 柔道場 *前日計量
 - 16：30～17：00 非公式計量
 - 17：00～18：00 公式計量（1回のみ）※ 選手変更の計量も上記の時間内とする。

21 諸 会 議

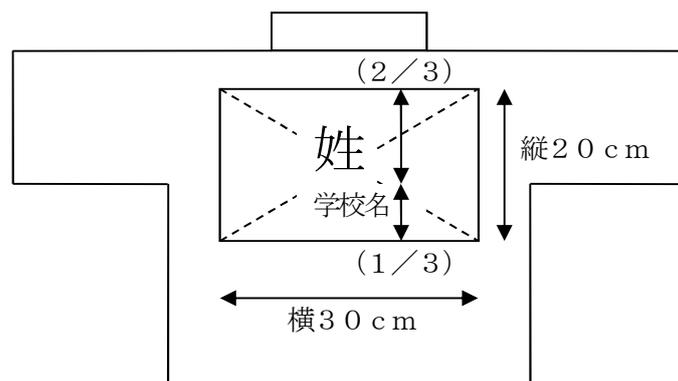
- (1) 顧問、審判、監督会議及び審判講習会
 - ① 令和元年 5月31日（金） 11：30～12：30 （長岡市市民体育館 柔道場）
 - ア. 審判監督会議
 - イ. 選手変更
 - ウ. 連絡・その他
 - ② 令和元年 6月1日（土）、2日（日） 8：30～8：45 （長岡市市民体育館 柔道場）
- (2) 専 門 委 員 会
 - 令和元年 6月2日（日）〈大会終了後〉（長岡市市民体育館 会議室）
 - ア. 北信越大会の審判員の決定及び出場選手の確認
 - イ. そ の 他（全国大会個人戦監督の決定等）

22 宿泊の申込み

- (1) 新潟県高等学校体育連盟宿泊要項による。
- (2) 申し込みは所定の用紙に必要事項を記入し、FAXにて次の申し込み先へ送信すること。
- (3) 申し込み先 (株) JTB長岡支店 新潟県長岡市東坂之上町2-1-1
TEL0258-35-3315 FAX0258-37-0700 担当 高野 朝倉 阿部
- (4) 申し込み締め切り 令和元年5月9日(木)必着

23 その他

- (1) 監督、コーチ等は校長が認める職員とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険)等に必ず加入することを条件とする。
- (2) 全国大会ならび北信越大会参加申し込みは、本大会終了後に連絡する。
- (3) 参加する生徒は必ず引率責任者が引率し、参加生徒のすべての行動に責任を負うものとする。
- (4) 参加する生徒の競技中の、疾病、傷病などの応急処置(医師による経費は個人負担)は主催者で行うが、その後の責任は負わない。
- (5) 審判員の服装は、正規の審判服とし必ずライセンス章をつける。
競技役員・監督は審判員に準ずることが望ましい。
- (6) 練習日程
5月31日(金) 試合場 9:00~12:45 柔道場 9:00~17:00 (11:00~13:00 使用不可)
6月1日(土) 試合場 7:15~ 8:30 柔道場 9:00~11:00
6月2日(日) 試合場 7:15~ 8:30 柔道場 9:00~15:00
- (7) 参加選手は、平成29年度全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿)を使用すること。
※ただし帯は、黒ナンバー、青ラベルの使用を可とする。
- (8) 参加選手は上衣背中へゼッケンをつけることとする。
(男子は黒字、女子は赤字)
- (9) ゼッケンの縫いつけの方法については、右記を参照にすること。
- (10) 宿泊・会場駐車場についての連絡として別紙3を用意しました。ご確認の上、ご協力を頂きますようよろしくお願いします。



◆宿泊について

大会事務局に宿泊を申し込む場合は、JTB長岡で対応する予定です。申込み時に希望施設を記入することができますが、希望通りの施設とならないこともありますので、ご理解と御協力をお願いします。

◆駐車場について

県総体の開催にともない、多数の方の来場が予想されます。大会当日は、乗り合わせまたは、公共交通機関で来場いただけますようお願いいたします。

なお、利用可能な駐車場は下記の通りです。

5月31日（金）長岡市市民体育館駐車場・長岡市中央図書館駐車場（下図参照）

6月1日（土）長岡市市民体育館駐車場・長岡市中央図書館駐車場（下図参照）

6月2日（日）長岡市市民体育館駐車場・長岡市中央図書館駐車場（下図参照）

また、駐車場内での盗難・事故等は、一切責任を負えませんのでご理解をお願いいたします。

